

# 警城時報

日刊 第七十  
編輯兼發行所 岡田 弘成  
印刷所 加納活版所  
印刷部 加納活版所  
電話 石城郡平町電話十五  
一 部金 貳 拾 五 月 金 拾 拾 五  
日 刊 一 行 十 四 字 金 五 拾 五  
日 刊 一 行 十 四 字 金 五 拾 五

## 青沼氏等の主張葬られ 平町助役決定

### 地方課主任屬遠藤氏

平町助役決定の平町會は十七日秘密會で開會し伏見町長は後任助役として縣廳の推薦にかゝる縣地方課遠藤長誠氏を後任助役に推薦し議場に諮つた處、青沼録太郎、大森勇兩氏外四五名の議員は

## 町役場吏員に 慰勞金を給せよ

### 町議佐々木龍若氏

平町役場吏員は従來六十歳以上に達して退職する以外には退職金を支給する規定がなかつたので今日まで六十歳に達せぬうちに退職したもののは病氣で退職する者も慰勞金が貰へず不平が起つてゐるので慰勞金支給に關する規定設置の必要は早くから叫ば

三郎、第十二區長國府田直良、第十五區長花澤亮五、六四區長並に第十區長代理者根本品藏氏外十名の辭任を認定した。

## 演説會

うけるといふ事は不公平である、かうした事は事務能率にも關係するから今後三年以上勤続した者は退職する際慰勞金を支給するやう規程を設けて貰ひ度い、

## 區長 辭任

町會で認定  
平町會では十七日平町第三區長吉田寅之輔、第十一區長石山治ら期待されてゐる。

## 立候補の届出者 三十一名に達す

### 結局三十五六名に達せん

平町會議員の候補者は十六日夕し合はせられたから結局氏が名乗り刻まで正式の届出でなした者をあけるに至るべく、新川町で左の如く三十一名に達し既に定数は十六日午後豫選會を開いて候員を超過したが、この外出馬候補者に長小治郎氏を推薦し目下實で今明日中に届出をなすので交渉中で、同町からは長氏が出あらう人は五丁目井上茂作、白ないとして他に一名の候補者銀町松永友太郎兩氏で、三丁目目が現はれる事は確定的であるが、目下の處候補者難に陥つてゐる、候補者は三十五六名に達するが、四丁目では猪狩庄平氏をのものと見られてゐる。正式に無理にかついで投票する事を申届出で候補者左の如し。

田町	藥劑士	宇佐美	友二郎	(三三)
田町	自動車業	野崎	滿藏	(四九)
紺屋町	新聞記者	馬目	雅治	(三四)
同	製材業	柳下	元吉	(五一)
月見町	米穀業	根本	品藏	(四四)
紺屋町	製具業	吉田	寅之輔	(四二)
材木町	建築業	石山	治三郎	(五〇)
研木町	製綿業	吉村	安治郎	(四四)
搔槌小路	材木商	吉田	五平	(五二)

二丁目内でさへ既に他候補に豫約済みの状態になつてゐる投票が少なくないので、到底樂觀は許されぬと傳へられてゐる。

## 苦戦候補

平町紺屋町加納五郎氏は紺屋町區から吉田寅之輔、柳下元吉、馬目雅治の三有力候補者が出馬してゐるので、同氏は紺屋町の投票を遠慮してゐる形であるため全町の散票を集めねばならず候補者中で苦戦の人と傳へられてゐる。

## 諏訪神社に 一つ目入道

古むじなの所爲か石城郡赤井村日渡居住渡邊運太郎(五八)は去る十五日午後八時ころ同村大倉部落諏訪神社境内を通行中突然運太郎の前に丈余の一つ目玉の大小道が現れたので膽を潰し一時は驚きの余り昏倒しさうになつたのを漸く耐へ一目散に自宅に逃げ戻つたが、これがため十六日は口も利かず失神状態に陥つてゐる、同所は時々古むじなが出て悪戯をするので、これでも古むじなの悪戯ではないかといはれてゐる

## 佐々木氏の 地盤荒さる

平町四軒町佐々木龍若氏は鐵北代表者として柳町、四軒町、舊城跡、八幡小路の區民から出馬を誘はれて名乗りをあげたが過去四年間町議任期中の業績が如何に全町會議員として遜色のない人物であるか人々頗るよく樂觀の状態であつたが、最近に至り鐵北から舊城跡の有力者青沼録太郎氏が出馬し猛烈な運動を開始したのと、胡麻澤花澤鬼五六氏の手が廻つた等の關係で地盤を揺さぶられ、決して樂觀を許されない状態に立ち至つたと傳へられてゐる。

## 形勢不利

### 關内正一氏

石城郡内郷村大字御所木宿山田喜兵衛(五九)は去月二十一日午後五時頃ボール投をして居たので憤慨し力三を毆打し、會議員として全く好適な青年爲全治三週間の傷害を與へたので政家であるが、遺憾乍ら立ち運兵衛は去る十五日山田を相手取り平署に告訴を提起した。

## 悲痛な運動

平町鍛冶町區民が今日まで四年

### 使丁に 百圓贈る

平町傳染病院使丁稻川幸三郎は、勤続二十三年五月で退職したので平町では慰勞金として金百圓を贈る事になった。

### 勸業主任會

石城勸業主任並に産業技術員會議は十六日午前九時から元石城郡衙會議室に開催縣から廣瀬、大垣兩技師出席した、諮問事項その他左の如し。

▲諮問事項 農業經營改善上特ニ縣及關係機關に要望する事項  
▲協議事項 農家實地指導の効果を一層大ならしむる良法如何  
▲指示事項 地方擔任農業技術員と産業技術員の聯繫に關する件外二項  
▲注意事項 産業技術員の職務に關する件外十二項

### 泉校奉安所

石城郡泉村小學校の御眞影奉安所は工費一千圓にて鐵筋コンクリートを以て目下植田町中出吉之助氏が請負建築中であるが二十五日頃竣工の豫定である。

### ピアノ寄附

平第一校會我直治、第二校佐藤一の兩氏は生徒から募集した寄附金によつてピアノ(價格千七百五十圓)一臺、書籍(價格百五十九圓五十五錢)宛を第一校、第二校に寄附する事になった。

### 川瀨炭礦で 落磐で惨死

赤井村川瀨炭礦坑夫朝鮮人許錫俊(二三)は十五日午後四時頃坑

内で作業中落磐の下敷となり脊髓を骨折し平町安齋外科醫院で手當中であるが生命危篤である

### 落磐で惨死

石川郡蓬田村生れ好間村字北好間小田炭礦后山夫鈴木得雄(二四)は十五日午前十時頃同坑内で先山夫桑原巳之吉の后山夫として働いてゐた際落磐のため惨死した。

### 町村會議員 選舉注意要項

(一〇)  
ニ、名刺の用紙は白色のものに限ること。  
ホ、立札、看板の類は白地に黒色を用ひたるものに限ること。其の大きさは縦九尺(足の長さを含む)横二尺を超えざること。  
ハ、立札、看板の類は選舉事務所に設けたる場所の入口より一町以内の區域に於て二個を超ゆることを得ず。  
ト、選舉事務所に掲出する標札にありては電燈又は提灯一個に限ること。  
チ、選舉運動の爲にする文書圖書は選舉の當日に限り投票所を設けたる場所の入口より三町以内の區域に於ては頒布し又は揭示せざること。  
リ、本人の承諾なきに議員候補者推薦狀に其の名義を記載するは文書偽造罪を構成すへきに付注意すること。  
ヌ、文書、圖書は航空機上より頒布せざること。  
フ、演說會等に於て選舉に關する文書、圖書を手交することは面接運動と爲る虞あり之を爲さざること。  
ヘ、立札、看板の類は承諾を得ずして他人の土地又は工作物に掲せざること。  
ホ、他人の引札、張札等の類を毀棄するは選舉の自由を妨害したるものとして違反となること。

鳥節御料理  
柳子 井川理  
仕出しは迅速配達致します  
平町南町平館隣り  
電話四二四番

十七日替り  
市川百々之助主演  
帝キネ現代劇  
藤間林太郎主演  
難波戦記の花と散つた怪傑  
藤田隼人の青春時代の旅日記である

良人對妻  
小島洋々、歌川八重子主演  
マキノ三川文太郎特作  
實川善一、阪東三右衛門主演  
恩戀の巻  
澤田敬之助、生野初子助  
新見映郎、住ノ江田鶴子演  
マキノ超特作  
現代劇 小唄映畫  
吾等のお目見得主演  
アラビヤの唄封切  
説明 島津正一  
獨唱 島津正一  
十錢の割引券御利用下さい

有聲座  
沙漠に陽が落ちて  
アラビヤの唄封切  
説明 島津正一  
獨唱 島津正一  
十錢の割引券御利用下さい

貸家案内  
白銀町 商店向 二十圓  
同 勤人向 七圓五十錢  
同 商店向 五圓  
仲間町 商店向 八圓  
同 勤人向 七圓五十錢  
柳町 勤人向 七圓五十錢  
内郷村小島 勤人向 八圓  
風呂場附 八圓  
白銀町 加藤營業所

君はい、型の洋服を求められたね。眺かへ？  
いや君コレは例のソレ正札堂さ  
ソレ正札堂さ  
君はい、型の洋服を求められたね。眺かへ？  
いや君コレは例のソレ正札堂さ  
ソレ正札堂さ  
平町正  
通場車停町平  
堂札正

肺病助膜 専門薬  
不バ錠  
▲試用者の感謝と、好評なる賣行きとは其優秀なる効果を立證せり。  
▲故に輕症期に於ける人々よ、直ち服用し以て一刻も早く健康体に復せよ。  
▲則ち本品の現出は、病者を救ふに偉大なる福音なり。  
▲説明書密送す、御申込あれ。  
代理店 平町 山野邊藥局  
五丁目角

耳鼻咽喉科 専門  
新築場所 合津醫院  
電話五九五番  
平町仲田町七一

首より上の薬は 印に限る  
平町 田町  
字 佐美藥局  
電話八二七番

磐城時報社  
祝創立十五週年紀念  
中等學校野球大會

石城郡第三區  
小學校校長會

聚樂館  
平町白銀町

高橋龜松  
平町四丁目

鶴屋商店  
平町南町  
猪狩庄平

大和田耳鼻咽喉科醫院  
平町南町  
大和田郡司

磐城共濟病院  
大和一屋商店  
丹野榮三郎